

必ず

がん検診の結果が **要精密検査** の方は

精密検査を受けましょう



早期のがんは**自覚症状がほとんどありません**。がん検診の結果が「要精密検査」となった場合、本当のがんがあるかを調べる必要があるため、**必ず精密検査を受診してください**。区のがん検診は、受託医療機関でご受診いただく必要がありますが、精密検査については、区が指定する医療機関はありません。がん検診を受診された医療機関にご相談の上、精密検査を受診してください。※精密検査の受診は保険診療となります。



世田谷区で精密検査を受診した方のうち、

胃がんが見つかったのは

2.4% (696人中17人)



胃がん検診

人数 (令和5年度)

検診の結果が「要精密検査」の方 738人

【精密検査を受診した方】 696人

胃がんと診断された方 17人

精密検査の内容

胃内視鏡検査 (胃カメラ)

喉の麻酔を行った後、口(または鼻)から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察します。疑わしい部分は、少量の胃の組織を採取し、顕微鏡で調べます。

※ 胃がん検診で胃内視鏡検査を受けた場合でも、より詳しく調べるために再検査が必要になることがあります。



世田谷区で精密検査を受診した方のうち、

肺がんが見つかったのは

1.8% (1,037人中19人)



肺がん検診

人数 (令和5年度)

検診の結果が「要精密検査」の方 2,259人

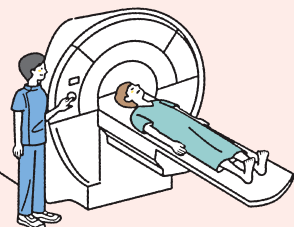
【精密検査を受診した方】 1,037人

肺がんと診断された方 19人

精密検査の内容

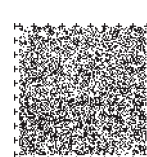
CT検査

胸部エックス線検査で病変が疑われた部位の断面図を撮影し、画像で確認します。



気管支鏡検査

気管支鏡(直径5mmほどの細い内視鏡)を口や鼻から挿入して気管支の中を観察し、病変が疑われる部分の細胞や組織を採取します。



上のマークは目の不自由な方のための「音声コード」です。



世田谷区で精密検査を受診した方のうち、

大腸がんが見つかったのは

5.4% (1,981人中108人)

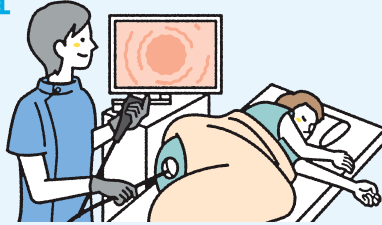
※便潜血検査の再検査は、精密検査ではありません。



精密検査の内容

全大腸内視鏡検査

精密検査として第一に推奨される方法です。内視鏡で大腸の全部位を観察し、必要に応じて大腸粘膜の細胞を採取します。



大腸がん検診	人数 (令和5年度)
検診の結果が「要精密検査」の方	3,575人
【精密検査を受診した方】	1,981人
大腸がんと診断された方	108人

S状結腸内視鏡検査・注腸エックス線検査

大腸全体を内視鏡で観察することが困難な場合は、S状結腸までを内視鏡で観察し、奥の大腸はバリウムを流し込みエックス線で調べます。



世田谷区で精密検査を受診した方のうち、

子宮頸がんが見つかったのは

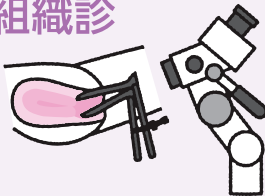
0.5% (746人中4人)



精密検査の内容

コルポスコープ診及び組織診

コルポスコープを使って子宮頸部を詳しく見て、病気があると疑われる部分(組織)を一部採取して標本にし、顕微鏡で診断します。



子宮頸がん検診	人数 (令和5年度)
検診の結果が「要精密検査」の方	915人
【精密検査を受診した方】	746人
子宮頸がんと診断された方	4人

HPV検査

子宮頸部から細胞を採取し、HPV(ヒトパピローマウイルス)に感染しているかどうかを調べます。



世田谷区で精密検査を受診した方のうち、

乳がんが見つかったのは

5.9% (1,605人中96人)



精密検査の内容

マンモグラフィの追加撮影

乳房のエックス線検査で、画像で確認します。乳がん検診よりも多方向から撮影することで、超音波検査で見えにくい微細な石灰化を見つげることができます。



超音波(エコー)検査

乳房に超音波を当て、画像で確認します。乳腺の密度が濃く、マンモグラフィではしこりがわかりにくい場合でも、超音波検査ではしこりの診断をすることができます。



※精密検査は上記の検査を組み合わせを行い、穿刺吸引細胞診や針生検など、他の検査方法がとられることもあります。

乳がん検診	人数 (令和5年度)
検診の結果が「要精密検査」の方	1,785人
【精密検査を受診した方】	1,605人
乳がんと診断された方	96人